

## IEC 数理情報部会研究会記録

日時：2013年8月11日（日）9：30～12:15

場所：京都情報大学院大学百万遍キャンパス 102 教室

出席者：江見、中西、西野、村田、矢島

見学：尾崎拓郎（大阪教育大学）

司会：江見

書記：矢島

講演：岡本敏雄（京都情報大学院大学）

内容：

### ■IEC 数理情報教育部会報告（江見・中西）

数理情報部会活動方針と問題点の整理、グラフ電卓を使った授業の実演が行われた。

### ■講演「ラーニングデザインと情報教育」岡本敏雄（京都情報大学院大学）

LD（ラーニングデザイン）とは何か、学習環境モデル例として IMS Learning Design Information Model、協調学習のための教育支援システム LAMS について、また日本の情報教育の問題点と教科情報の役割について講演をいただいた後に、参加者と議論を行った。

以下のような論点が挙げられた。

- ・ 教科情報で従来の科目とは違う能力が育成されるのか。
- ・ 「情報教育」「情報科教育」「情報化教育」が世間で混同されている。
- ・ 中教審に情報専門部会がないこと。
- ・ なぜ教科情報が必要か。教科の必要性の理論武装が必要であること。（海外のように政策決定作成のための技術としての「デモクラシと情報」という視点も重要）